

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 環境政策課長 湊 直樹 電話番号 0852-22-5345

事務事業の名称	3R推進事業費	
目的	(1) 対象	県民及び事業者
	(2) 意図	県民及び事業者に3R（廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用）の必要性の認識を高めてもらい、ライフスタイルの見直しにより循環型社会の推進を図る。
事業概要	環境への負荷の少ない持続的に発展する「しまね循環型社会」の構築をめざして、県民、事業者、行政等が連携した活動を推進するための取組。 ○3R普及啓発事業、○しまねグリーン製品認定普及事業、○リサイクル関連関係者の連携交流事業、○循環型社会推進計画の進行管理、等の取組。	

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	一般廃棄物の年間排出量	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		236.00	234.00	231.00	229.00	
式・定義	家庭や事業所から排出される一般廃棄物の排出量		実績値	243.00	248.00	246.00			
			達成率		94.90	94.90			%
指標名	しまねグリーン製品認定製品数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		103.00	110.00	117.00	125.00		製品
式・定義	認定製品数		実績値	96.00	109.00	80.00	102.00		
			達成率		105.80	72.70	87.20		%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	65,614	83,768
うち一般財源(千円)	988	4,690

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

一般廃棄物の排出量：(H24)246ト→(H25)248ト、再資源化率(H24)25.4%→(H25)25.1%。  
産業廃棄物の排出量：(H24)1,747ト→(H25)1,687ト、再資源化率(H24)62.6%→(H25)56.4%。  
ともに概ね横ばいにて推移している。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

産業廃棄物については、減量税導入の効果もあり、最終処分量が減少している。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
一般廃棄物について、排出量の削減が進まず、排出抑制や再使用などの3R普及啓発等の取組の効果が十分に見られていない。  
産業廃棄物について、排出量の削減や再生利用率の向上の取組は、景気の変動等に左右されやすい。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
一般廃棄物については、ごみ排出量はライフスタイル（核家族化や高齢化など）と密接に関係している。  
産業廃棄物については、事業活動が景気動向に左右されることから、排出や再生利用の状況も変動する。  
また、循環型社会構築のための取組は、社会的に浸透するまでの相当の期間が必要とされる。
- ③原因を解消するための「課題」  
一般廃棄物については、発生抑制と再使用の推進による排出量の削減が、産業廃棄物については、安定的な再生利用ルートの確保がそれぞれ必要で、これらが社会的に浸透するための施策の継続が課題。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

一般廃棄物については、市町村の実情（処理場の有無や状況、分別手法の相違、レジ袋有料化の取組など）に応じた、市町村ごとの具体的な削減に向けての取組が必要であり、今後市町村と連携・協力しながら、普及啓発等の取組を推進。  
産業廃棄物については、安定的な再生利用ルートを確保するため、リサイクル製品の認知度を高めるとともに、製品の品質等についても向上を促し、産業廃棄物の発生抑制、利活用の推進について、減量税基金を財源に、リサイクル製品の認知度向上、製品の品質向上、販路開拓支援などの施策を進めていく。  
H27年度に制度創設した「民需向け」（販売促進支援事業）と「公共調達」（県対象の実証調査、市町村対象のモデル実証等による実績づくり事業）の両面から支援を充実。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）